大阪ガス

即湯ユニット

取扱説明書(保証書付)

型番	型式名
138-N700型	QU-3

まずはじめに

この取扱説明書の見かた 2
各部のなまえとはたらき(システム図) 3

リモコン238-N304/N305型での使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン) 4
即湯運転する 6
即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約> 8

リモコン138-N380/N381/N382/N383/N384/N385/N395/N396/N397/N398型での使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン) 12
即湯運転する 14
即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約> 16

リモコン138-N310/N311型での使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン) 20
即湯運転する 22
即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約> 24

リモコン138-3054/3055/3056/3060/3061/3062/3063/3064/3091/3092/3093/3094/N305/N306/N307/N308/N315/N316型での使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン) 28
即湯運転する 30
即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約> 32

必要なとき

凍結による破損を予防する 36
アフターサービスについて 38
主な仕様 39
保証書 裏表紙

SAR8096③

この取扱説明書の見かた

このたびは大阪ガスの即湯ユニットをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があれば販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。
＊保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容などを確かめてください。
＊この取扱説明書(保証書付)は別冊の機器本体編・リモコン操作編の取扱説明書と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

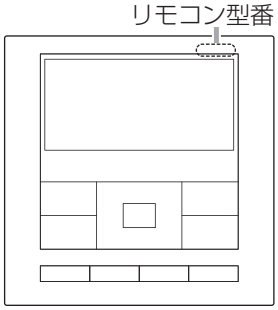
即湯運転に関する内容のみ記載しています

＊給湯暖房機については、別冊の機器本体編またはリモコン操作編の取扱説明書で説明していますので、併せてお読みください。
＊その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

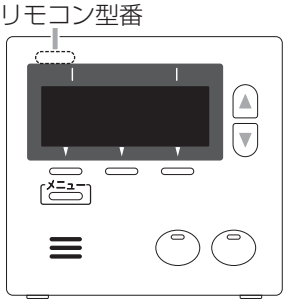
お使いのリモコン型番を確認してください

＊お使いのリモコンにより操作が異なります。
リモコン型番をご確認のうえ、必要なページをお読みください。

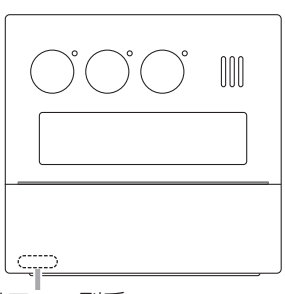
リモコン型番の記載位置



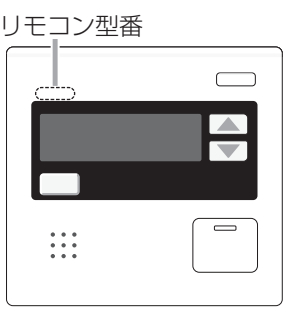
238-N304 型
238-N305 型



138-N310 型
138-N311 型



138-N380 型
138-N381 型
138-N382 型
138-N383 型
138-N384 型
138-N385 型
138-N395 型
138-N396 型
138-N397 型
138-N398 型

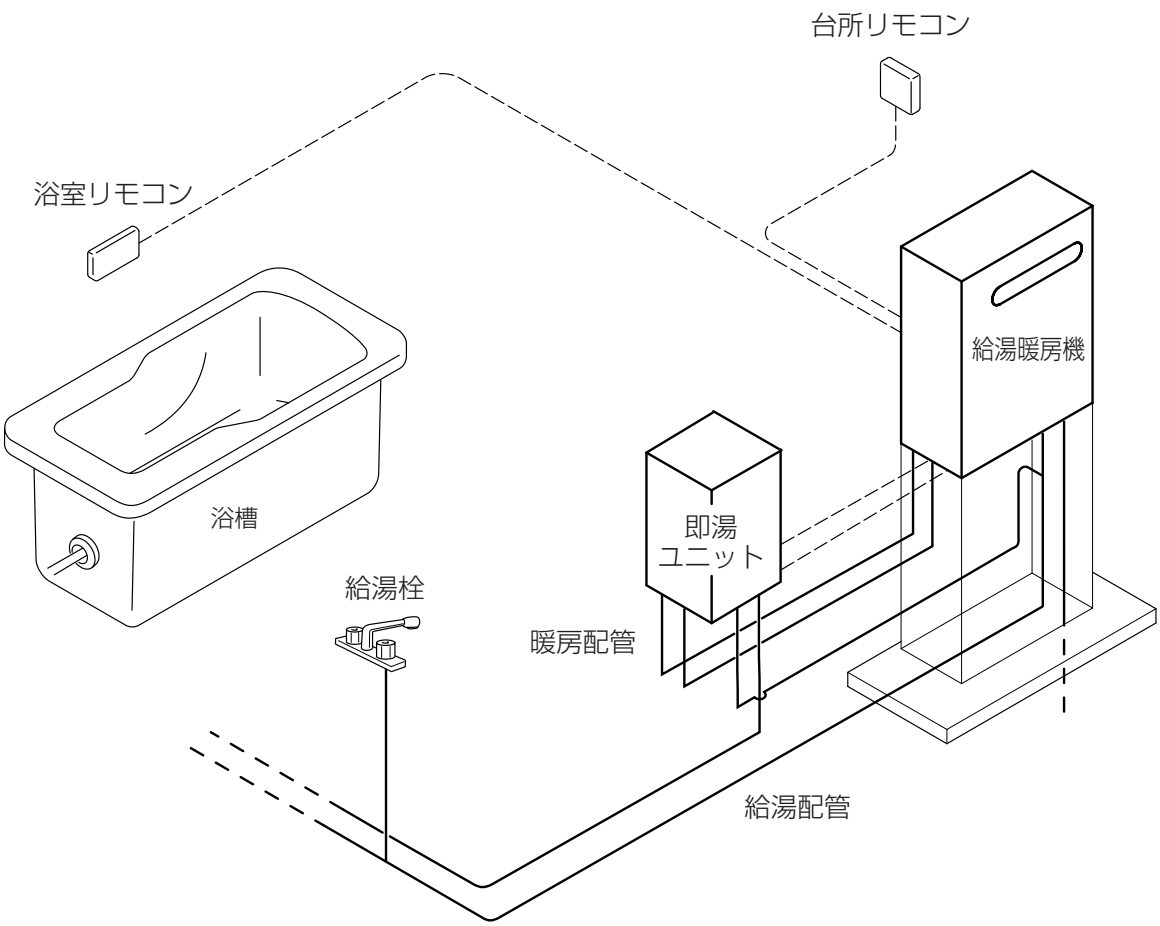


138-3054 型
138-3055 型
138-3056 型
138-3060 型
138-3061 型
138-3062 型
138-3063 型
138-3064 型
138-3091 型
138-3092 型
138-3093 型
138-3094 型
138-N305 型
138-N306 型
138-N307 型
138-N308 型
138-N315 型
138-N316 型

各部のなまえとはたらき(システム図)

即湯運転とは･･･

早くお湯が出るように、給湯配管内のお湯をあたため、保温します。



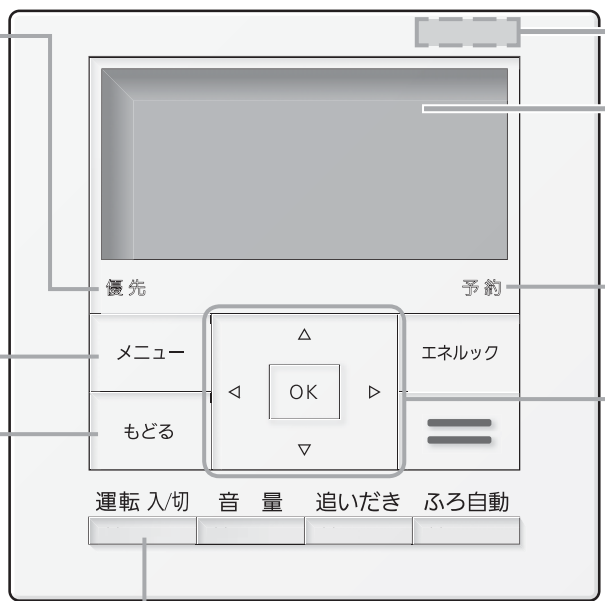
※システム図は一例であり実際と異なります。

使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)

台所リモコン

台所リモコン238-N304型で説明します。
※即湯・即湯予約に関する内容のみ説明しています。



優先ランプ
このランプが点灯しているときは、お湯の温度が調節できます。

メニュースイッチ
メニューを表示するときや、トップ画面に戻すときに。

もどるスイッチ
画面をひとつ前に戻すときに。

運転スイッチ・ランプ
運転の入・切に。

リモコン型番

表示画面
(☞次ページ)

予約ランプ
即湯予約をしているときに点灯します。
(☞P8)

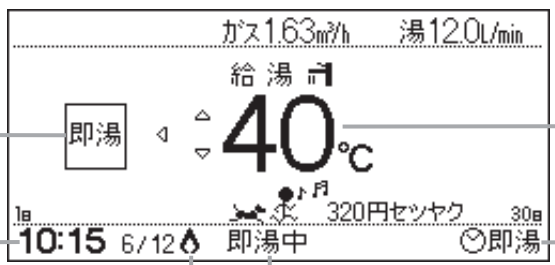
OKスイッチ
設定した内容を決定するときに。

◁▷ スイッチ
画面を進める(戻す)とき、項目を選ぶときなどに。

▽△ スイッチ
数字·設定を変えるときや、項目を選ぶときなどに。

表示画面

下記の表示画面は即湯・即湯予約に関する内容のみ説明しています。
実際は、運転の状態・お使いの給湯暖房機・お使いの暖房放熱器・オプション機器によって異なる表示をします。
即湯・即湯予約以外の内容については、リモコン操作編の取扱説明書をご覧ください。



即湯表示
（☞P6,8）

時計表示
（例：10時15分）

燃焼表示
即湯運転の保温時など、燃焼中に点灯します。

給湯温度表示
（例：40℃）

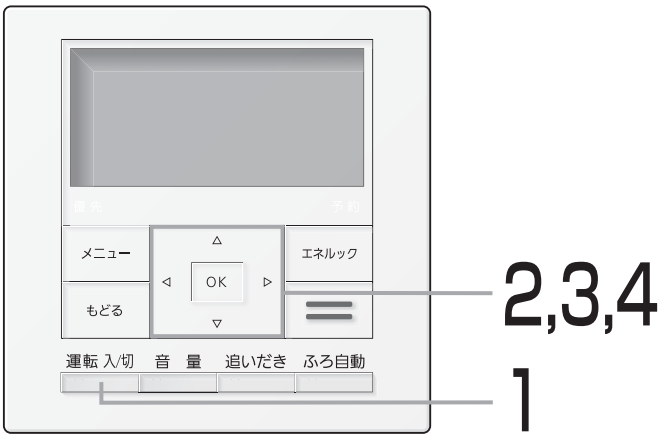
即湯予約表示
即湯予約をしているときに表示します。

即湯中表示
即湯運転中に表示します。

使いかた

即湯運転する（常時即湯運転をしたいとき）

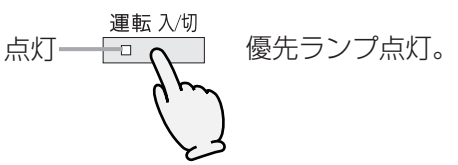
【例：台所リモコン238-N304型】



＜お願い＞
即湯を選択してもすぐにお湯は出ません。給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまで約１時間かかります。
すぐにお湯を使いたい場合は、あらかじめ即湯予約をしてください。（☞P8～11）

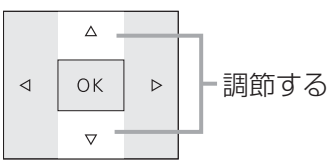
＜運転スイッチ「切」のとき＞

1 運転スイッチを押して「入」にする

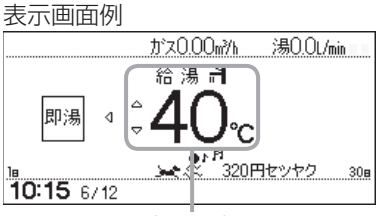


※運転スイッチ「入」のときは、優先ランプ点灯を確認する。

2 給湯温度を確認する（必要に応じて△▽スイッチを押して調節する）



表示画面例



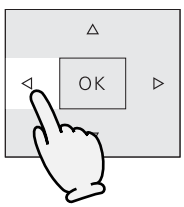
⚠警告

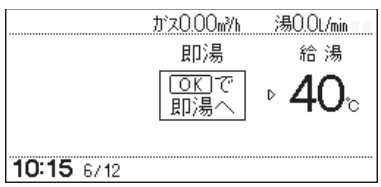
やけど予防のために

＊給湯温度を60℃などの高温の設定温度から下げた場合は、しばらく熱いお湯が出ますので、やけどに注意してください。（配管内のお湯が熱いため）
＊即湯運転中に《優先》を切り替えた場合、切り替えたほうの温度で即湯運転を続けるため、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用してください。

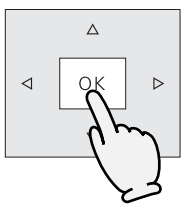
3 ① ◁スイッチを押して「即湯」を中央に表示させ、② OKスイッチを押す

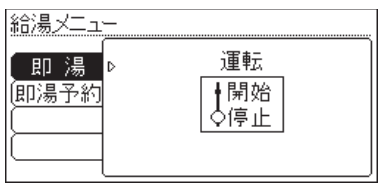
①





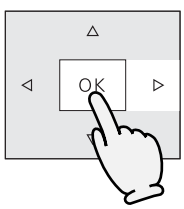
②

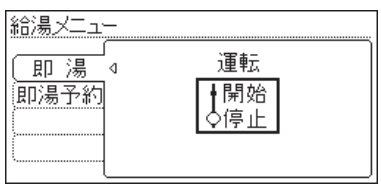




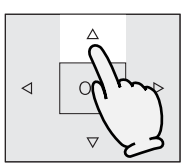
4 ①「即湯」が選択されていることを確認して、OKスイッチまたは▷スイッチを押す ② △スイッチを押して運転「開始」にする

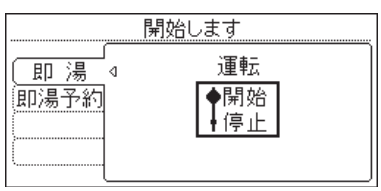
①

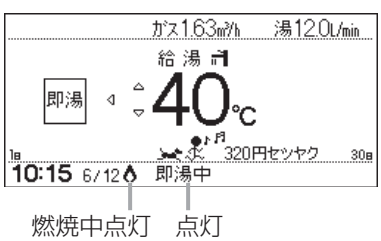




②







即湯運転をやめたいとき

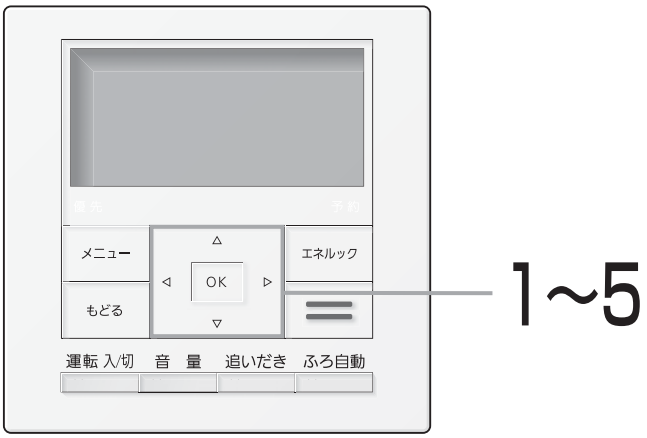
手順**3,4**をおこない、▽スイッチを押して即湯運転を「停止」にする

※お湯の温度は、必ずしも設定温度になりません。目安としてお使いください。
※お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する＜即湯

【例：台所リモコン238-N304型】



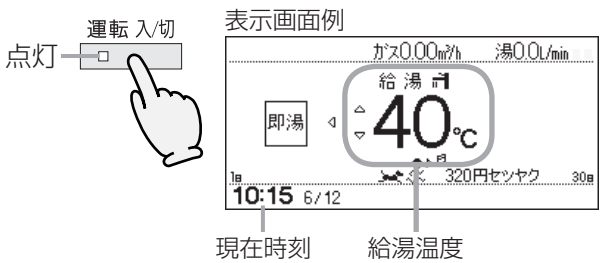
＊あらかじめ即湯運転する時間帯を設定して予約「する」にしておくと、毎日同じ時間帯に即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。

＊給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまでに約1時間かかるため、開始時間は、「お湯を使いたい時間の１時間前」に設定してください。

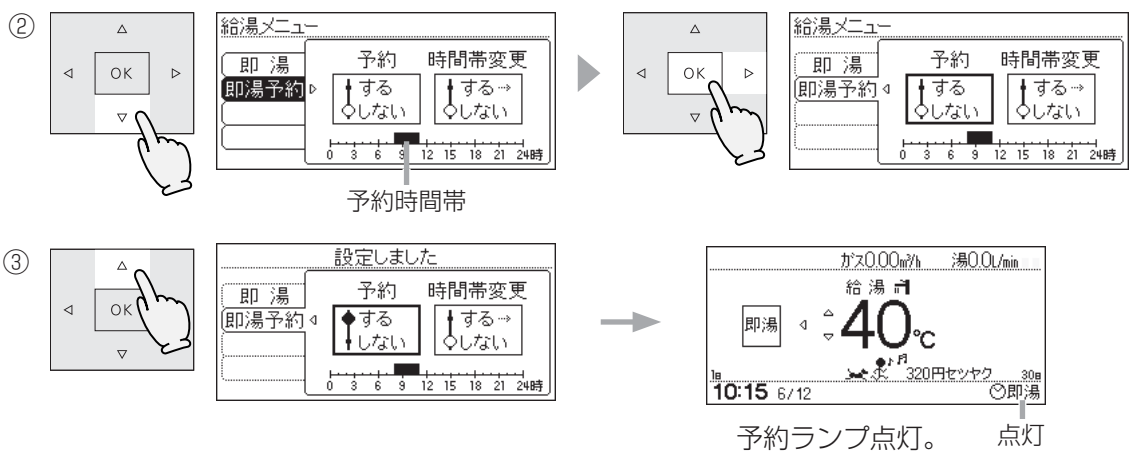
即湯運転を予約する

準備

1. 運転スイッチを押して「入」にする
2. 給湯温度を確認する
3. 現在時刻が正しいかどうか確認する
4. P9～10「即湯運転する時間帯を設定する」の手順で時間帯を設定しておく



① P7の手順3をおこなう
② ▽スイッチを押して「即湯予約」を選択し、OKスイッチまたは▷スイッチを押す
③ △スイッチを押して予約「する」にする



・予約解除をしなければ、毎日同じ時間帯に自動的に即湯運転をします。

予約>-1

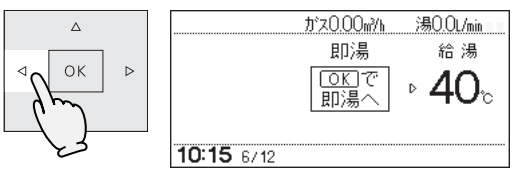
即湯運転する時間帯を設定する

準備

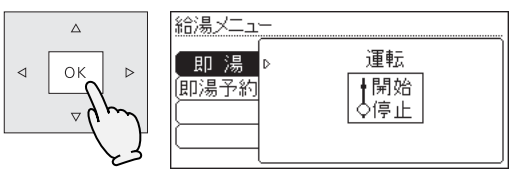
「日時あわせ」をしていない場合は、日時あわせをする。
（「日時あわせ」の方法は、リモコン操作編の取扱説明書をご確認ください）

1 ① ◁スイッチを押して「即湯」を中央に表示させ、② OKスイッチを押す

①

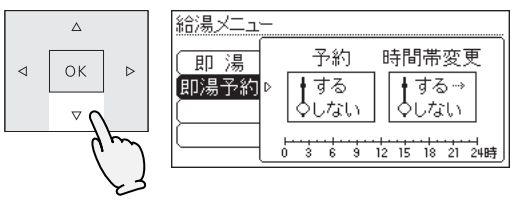


②

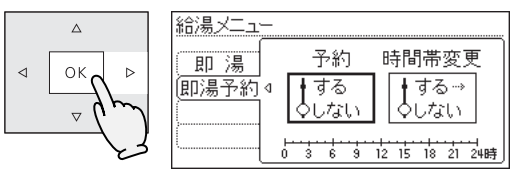


2 ① ▽スイッチを押して「即湯予約」を選択し、② OKスイッチまたは▷スイッチを押す

①

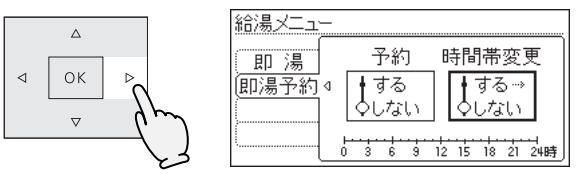


②



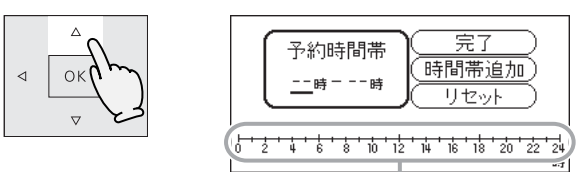
3 ① ▷スイッチを押して「時間帯変更」を選択し、② △スイッチを押して「する」を選択する

①



・即湯予約中は時間帯変更はできません。

②



設定した時間帯を表示します。

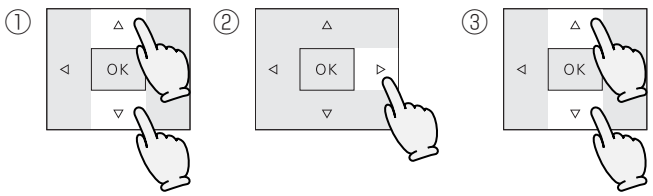
・複数の時間帯を設定できます。

（次ページへ）

即湯運転する時間帯を予約する＜即湯

（前ページより）

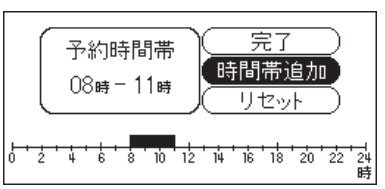
4 ① △▽スイッチを押して「予約時間帯」の入時刻を設定し、② ▷スイッチを押して右へ移動させ ③ △▽スイッチを押して切時刻を設定する



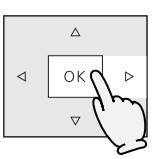
・入時刻は、お湯を使いたい時間の１時間前に設定してください。

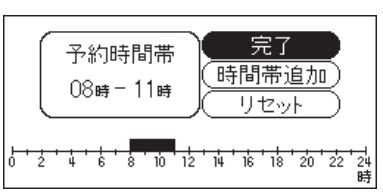
複数の時間帯を追加したいとき

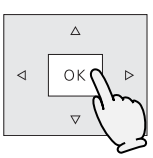
▷スイッチと▽スイッチを押して「時間帯追加」を選択し、OKスイッチを押す。その後、続けて追加したい時間帯を設定する。

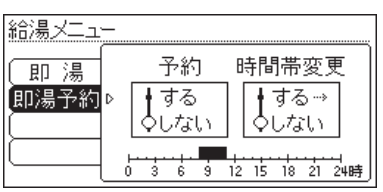


5 ① ▷スイッチまたはOKスイッチを押して「完了」を選択し、② OKスイッチを押す







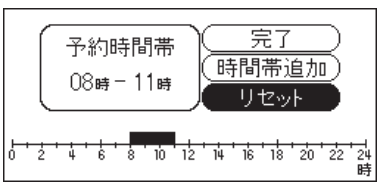


・約30秒そのままにするか、メニュースイッチを2回押すとトップ画面に戻ります。

予約>-2

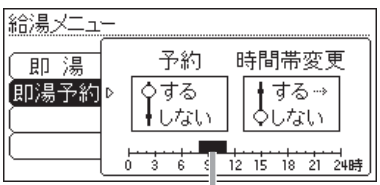
設定をすべてやり直したいとき

①P9の手順**1**～手順**3**をおこなう。
②▷スイッチと▽スイッチを押して「リセット」を選択し、OKスイッチを押す。
③P10手順**4**で時間帯を設定し直す。



予約時間帯の確認

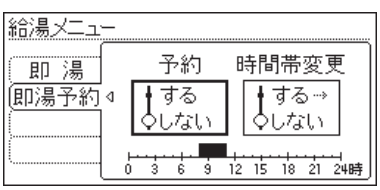
①P9の手順**1**をおこなう。
②▽スイッチを押して「即湯予約」を選択する。



予約時間帯を表示します。

即湯予約を解除したいとき

①P9手順**1,2**をおこなう。
②▽スイッチを押して予約「しない」にする。

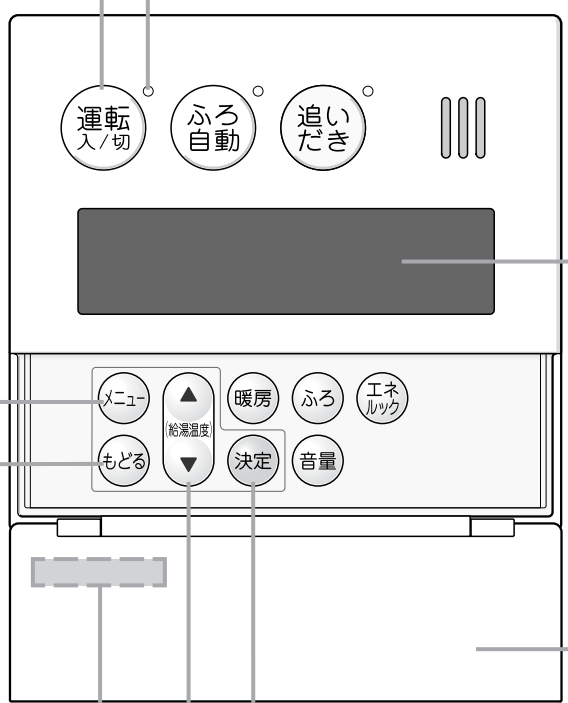


※即湯予約運転が開始してから即湯予約を予約「しない」にしても、自動で即湯運転は停止しません。
必要に応じてP7の「即湯運転をやめたいとき」の手順で、即湯運転を停止してください。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

台所リモコン

台所リモコン138-N380型でご説明します。
ここでは即湯・即湯予約に関するスイッチのみ説明しています。



運転スイッチ・ランプ(緑)
運転の入・切に。

表示画面
(☞次ページ)

メニュースイッチ
メニューを表示するときや、トップ画面に戻すときに。

もどるスイッチ
画面をひとつ前に戻すときに。

ふたを開けた状態

リモコン型番
ふたの表面に記載しています。

決定スイッチ
設定した内容を決定するときに。

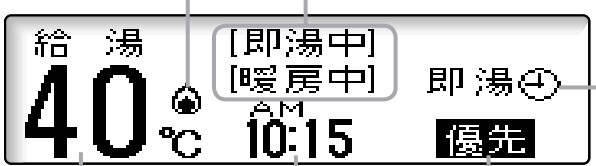
給湯温度スイッチ
給湯やシャワーのお湯の温度の設定に。
その他、設定を変更するときに。

表示画面

下記の表示画面は説明用です。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

炎マーク
即湯運転の保温時など、燃焼中に点灯します。

即湯表示
即湯運転中に表示します。（暖房を使用していないときでも[暖房中]を同時に表示します）



給湯温度表示
（例：40℃）

即湯予約表示
即湯予約をしているときに表示します。

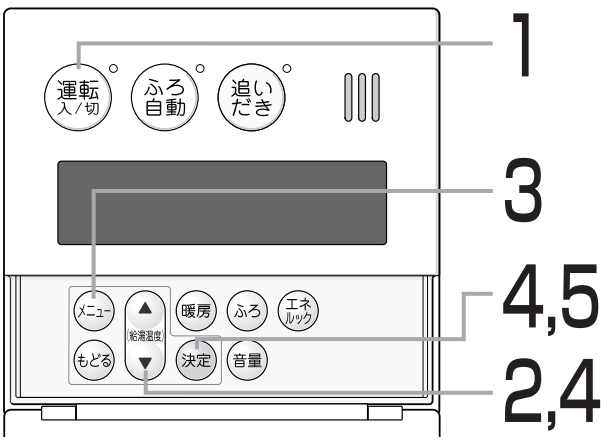
時計表示
（例：午前10時15分）

優先表示
この表示が点灯しているときは、お湯の温度が調節できます。

使いかた

即湯運転する（常時即湯運転をしたいとき）

【例：台所リモコン138-N380型】



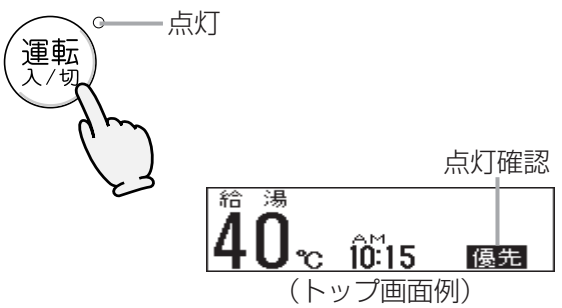
＜お願い＞

即湯を選択してもすぐにお湯は出ません。給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまで約１時間かかります。

すぐにお湯を使いたい場合は、あらかじめ即湯予約をしてください。（☞P16～19）

＜運転スイッチ「切」のとき＞

1 運転スイッチを押して「入」にする

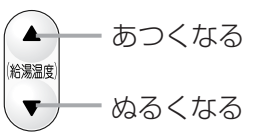


（トップ画面例）

※運転スイッチ「入」のときは、優先表示が点灯していることを確認してください。
優先表示が点灯していないときは、運転スイッチを押していったん「切」にし、再度押して「入」にしてください。
（このとき、運転が停止しますのでご注意ください）

＜一度設定すると記憶します＞

2 給湯温度を確認する（必要に応じて、給湯温度スイッチを押して調節する）



（例：42℃）

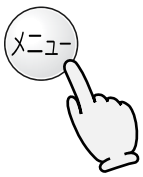
⚠警告

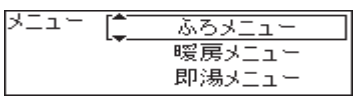
やけど予防のために

＊給湯温度を60℃などの高温の設定温度から下げた場合は、しばらく熱いお湯が出ますので、やけどに注意してください。（配管内のお湯が熱いため）

＊即湯運転中に《優先》を切り替えた場合、切り替えたほうの温度で即湯運転を続けるため、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用してください。

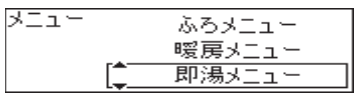
3 ふたの中のメニュースイッチを押して メニュー画面を表示させる

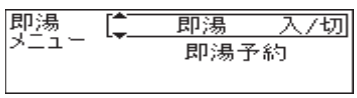




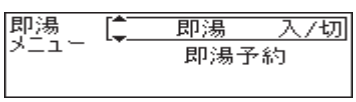
（表示例）

4 給湯温度スイッチを押して「即湯メニュー」を選択し、決定スイッチを押す

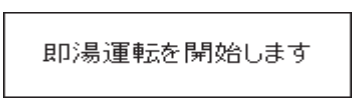




5 「即湯 入/切」が選択されていることを確認し、決定スイッチを押す



即湯運転開始

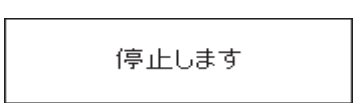


即湯メニューの「即湯」と「運転中」が
交互に表示（約10秒間）

燃焼中 点灯　　点灯

即湯運転をやめたいとき

手順**3**～**5**をおこなう



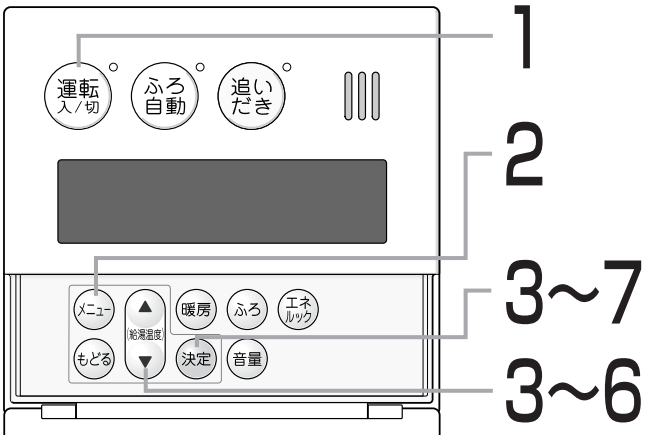
・即湯メニューに戻り、約10秒後
トップ画面に戻ります。

※お湯の温度は、必ずしも設定温度になりません。目安としてお使いください。
※お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する＜即湯

【例：台所リモコン138-N380型】



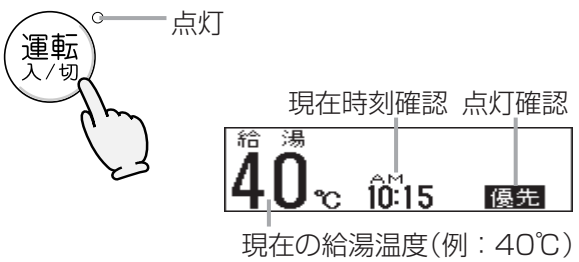
あらかじめ即湯運転する時間帯を設定しておくと、即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。
（時間帯は複数設定できます）

朝6時～朝8時の間、お湯を使いたい場合で説明します
（朝5時～朝8時に即湯運転）

※即湯運転を開始しても、給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまでに約1時間かかるため、開始時刻は、「お湯を使いたい時刻の１時間前」に設定してください。

＜運転スイッチ「切」のとき＞

1 運転スイッチを押して「入」にする

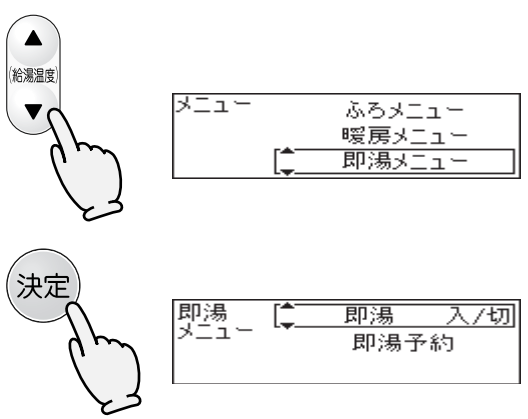


※運転スイッチ「入」のときは、優先表示が点灯していることを確認してください。
優先表示が点灯していないときは、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。（このとき、運転が停止しますのでご注意ください）

2 ふたの中のメニュースイッチを押してメニュー画面を表示させる

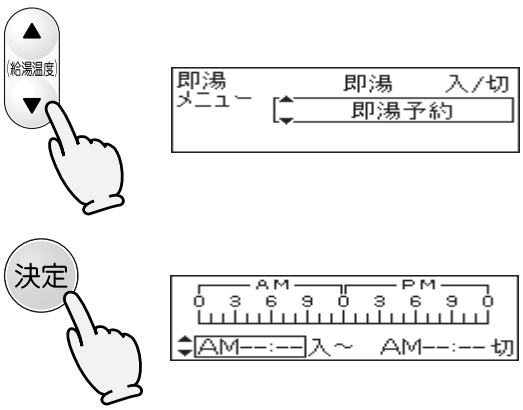
（表示例）

3 給湯温度スイッチを押して「即湯メニュー」を選択し、決定スイッチを押す



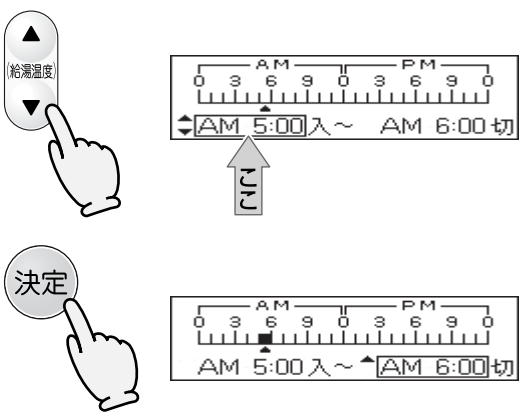
予約>-1

4 給湯温度スイッチを押して「即湯予約」を選択し、決定スイッチを押す



※前回の設定を表示します。

5 給湯温度スイッチを押して「AM5：00」に設定し、決定スイッチを押す【「入」時刻設定完了】



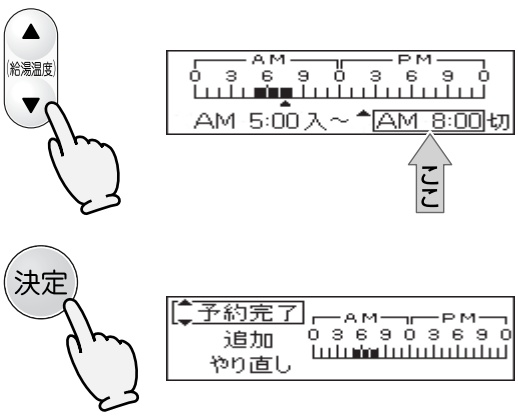
※一度押すごとに1時間ずつ変わります。

【前回の設定のまま予約する場合】
「入」時刻設定せずに決定スイッチを押し、手順**7**の操作をする

【前回の設定に時間帯を追加する場合】
「入」時刻設定せずに決定スイッチを押し、P18「続けて他の時間帯を追加したいとき」の操作をする

【前回の設定を取り消す場合】
「入」時刻設定せずに決定スイッチを押し、P18「設定をすべてやり直したいとき」の操作をする

6 給湯温度スイッチを押して「AM8：00」に設定し、決定スイッチを押す【「切」時刻設定完了】



（次ページへ）

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する＜即湯

（前ページより）
＜必要に応じて設定します＞

続けて他の時間帯を追加したいとき

①給湯温度スイッチを押して「追加」を選択し、決定スイッチを押す

②手順5～6の操作で設定する

設定をすべてやり直したいとき

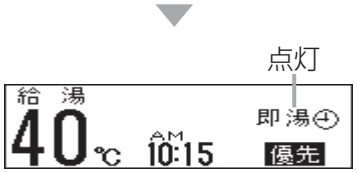
①給湯温度スイッチを押して「やり直し」を選択し、決定スイッチを押す

設定内容がすべて消えます

②手順5～6の操作で設定する

7 決定スイッチを押す

即湯メニューの「即湯予約」と「予約中」が交互に表示（約10秒間）

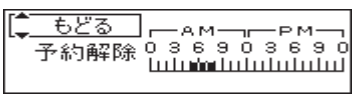


・決定スイッチを押さなければ予約はされません。
・時計あわせをしていない場合は、時計あわせの画面表示になります。
・予約解除をしなければ、毎日同じ時間に自動的に即湯運転をします。

予約>-2

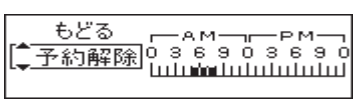
予約時刻の確認

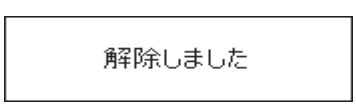
①手順1～4をおこない、確認する
②「もどる」が選択されていることを確認し、決定スイッチを押す



即湯予約をやめたいとき

①手順1～4をおこなう
②給湯温度スイッチを押して「予約解除」を選択し、決定スイッチを押す





即湯メニューに戻ります

・約10秒後トップ画面に戻ります。
・即湯「入」時刻になってから即湯予約を解除すると、自動で即湯運転を停止しません。必要に応じてP15の手順で即湯運転を停止してください。

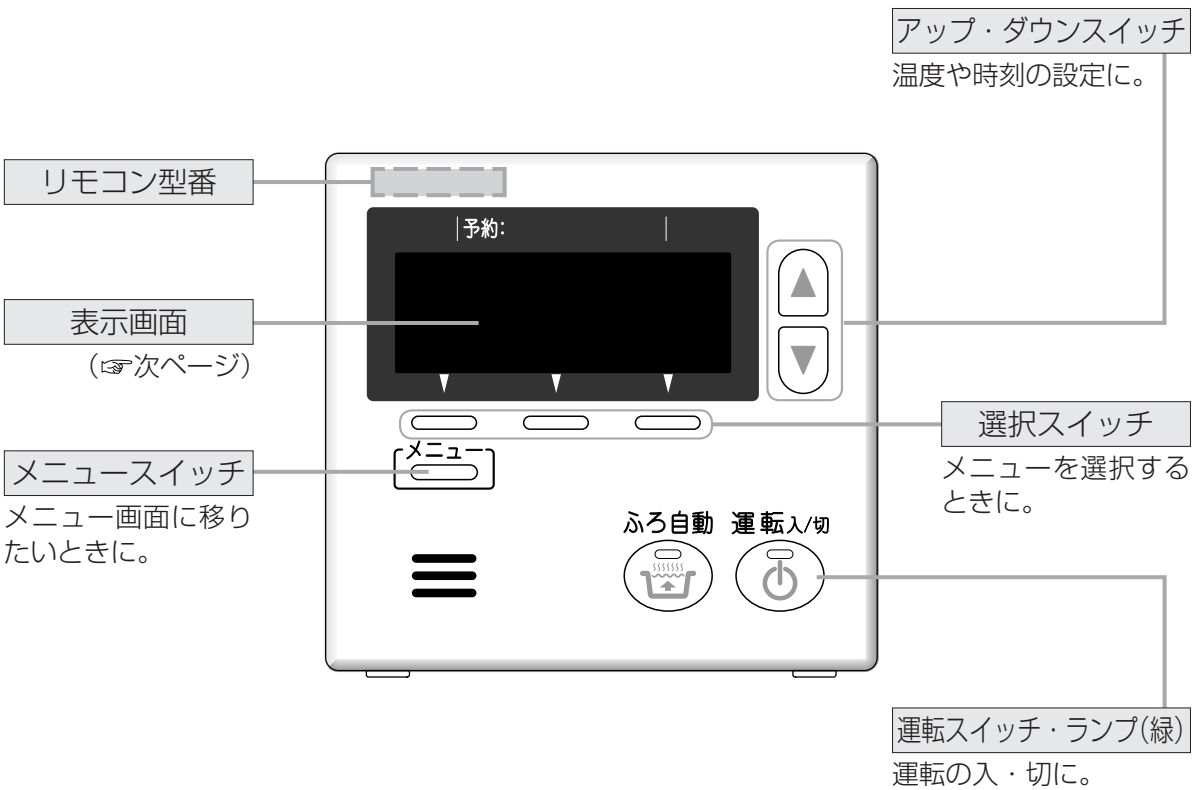
予約時刻の変更

上記「即湯予約をやめたいとき」の手順により解除してから、もう一度設定しなおしてください。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

台所リモコン

台所リモコン138-N310型で説明します。
ここでは、即湯・即湯予約に関するスイッチのみ説明しています。



表示画面

下記の表示画面は説明用です。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

機能予約表示(緑)
即湯運転をする時間帯を予約しているときに、点灯します。

炎マーク(赤)
即湯運転の保温時など、燃焼中に表示します。

優先表示(オレンジ)
この表示が点灯しているときは、お湯の温度が調節できます。

即湯表示
即湯運転中に表示します。(暖房を使用していないときでも暖房中を同時に表示します)

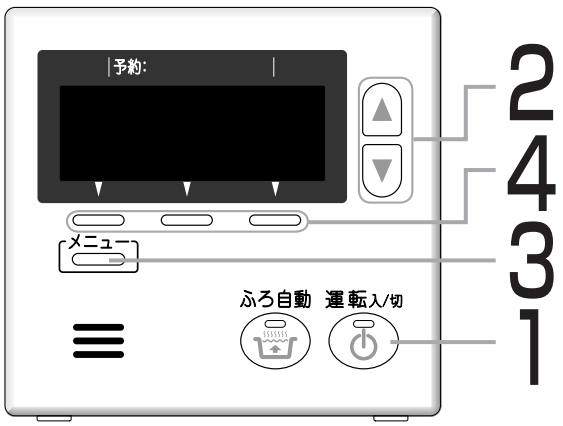
時計表示
(例:午前10時15分)

給湯温度表示
(例:40℃)

使いかた

即湯運転する（常時即湯運転をしたいとき）

【例：台所リモコン138-N310型】



＜お願い＞
即湯を選択してもすぐにお湯は出ません。給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまで約１時間かかります。
すぐにお湯を使いたい場合は、即湯する時間帯を予約してください。（☞P24～27）

＜運転スイッチ「切」のとき＞

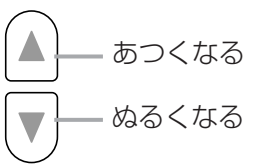
1 運転スイッチを押して「入」にする

前回に設定した給湯温度（例：40℃）

※運転スイッチ「入」のときは、優先表示が点灯していることを確認してください。
優先表示が点灯していないときは、運転スイッチを押していったん「切」にし、再度押して「入」にしてください。
（このとき、運転が停止しますのでご注意ください）

＜一度設定すると記憶します＞

2 必要に応じて温度を調節する（変更しないときは温度を確認する）



変更した給湯温度

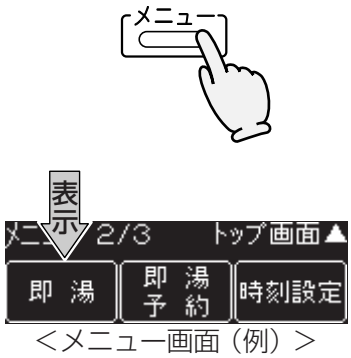
⚠警告

高温注意

やけど予防のために

＊給湯温度を60℃などの高温の設定温度から下げた場合は、しばらく熱いお湯が出ますので、やけどに注意してください。（配管内のお湯が熱いため）
＊即湯運転中に《優先》を切り替えた場合、切り替えたほうの温度で即湯運転を続けるため、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用してください。

3 メニュースイッチを何回か押して、メニュー画面に 即 湯 を表示させる

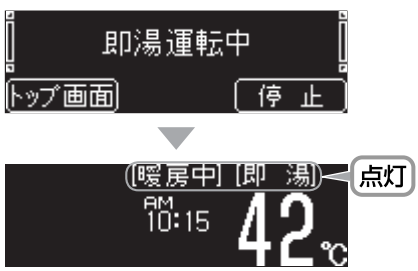


＜メニュー画面（例）＞

※トップ画面で 即 湯 を表示させることもできます
（☞リモコンセット（ドットマトリクス）の取扱説明書）

4 選択スイッチを押して 即 湯 を選択する

即湯運転を開始します



燃焼中は🔥が点灯します。

即湯運転をやめたいとき

3〜4の手順で 即 湯 を選択する（即湯運転中は 即 湯 の枠が動きます）

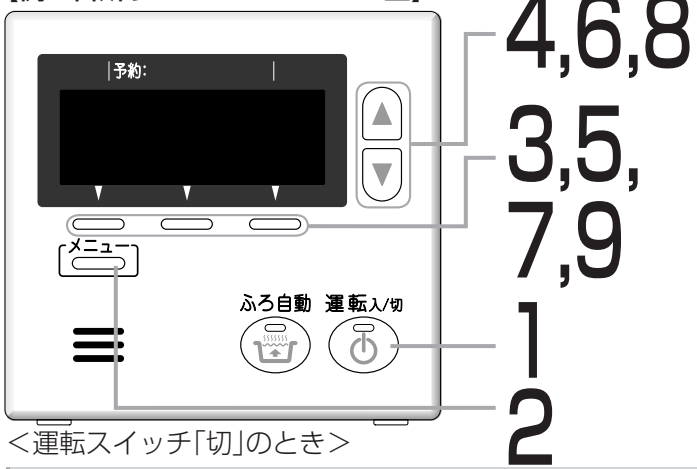
即湯運転を停止します

※お湯の温度は、必ずしも設定温度になりません。目安としてお使いください。
※お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する＜即湯

【例：台所リモコン138-N310型】



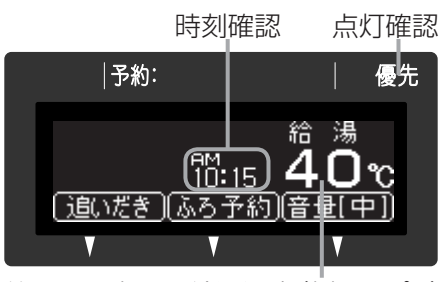
＜運転スイッチ「切」のとき＞

あらかじめ即湯運転する時間帯を設定しておくと、即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。
（時間帯は複数設定できます）

即湯運転を、朝6時～朝8時の間と夜6時～夜10時の間にお湯を使いたい場合で説明します

※即湯運転を開始しても、給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまでに約1時間かかるため、開始時刻は、「お湯を使いたい時刻の１時間前」に設定してください。

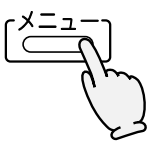
1 運転スイッチを押して「入」にする



前回に設定した給湯温度（例：40℃）

※運転スイッチ「入」のときは、優先表示が点灯していることを確認してください。
優先表示が点灯していないときは、運転スイッチを押していったん「切」にし、再度押して「入」にしてください。（このとき、運転が停止しますのでご注意ください）

2 メニュースイッチを何回か押して、メニュー画面に 即湯予約 を表示させる



＜メニュー画面（例）＞

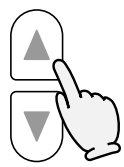
3 選択スイッチを押して 即湯予約 を選択する

前回に設定した時間帯（例）

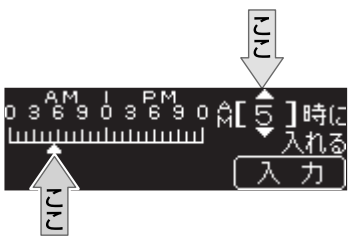
※前回予約設定している場合、前回設定した時間帯でよければ「予約完了」を選択してください。
＜即湯予約完了＞
（P26手順 9 参照）

予約>-1

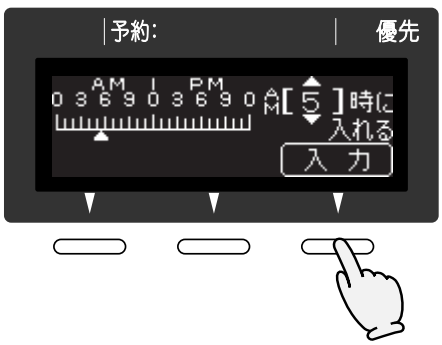
4 前回予約設定していない場合 アップ・ダウンスイッチを押して AM[5]まで▲を移動させる



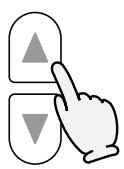
一度押すごとに1時間ずつ移動します。



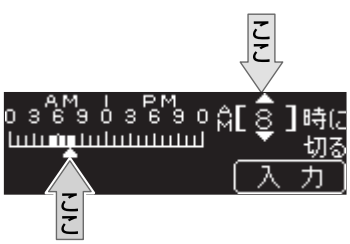
5 選択スイッチを押して 入 力 を選択する <開始時刻設定完了>



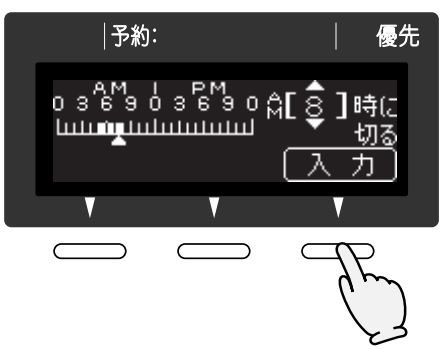
6 アップ・ダウンスイッチを押して AM[8]まで▲を移動させる

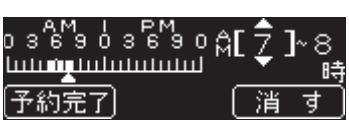


一度押すごとに1時間ずつ移動します。



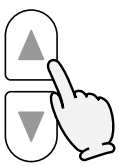
7 選択スイッチを押して 入 力 を選択する <終了時刻設定完了>



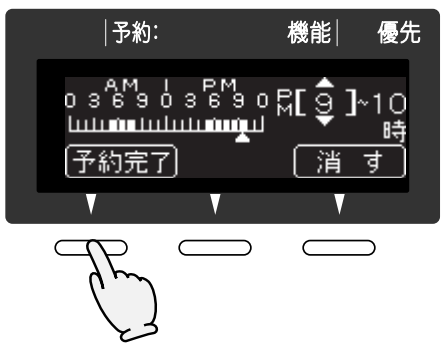


即湯運転する時間帯を予約する＜即湯

8 3～6の手順で PM[5]～[10]まで設定する



9 選択スイッチを押して 予約完了 を選択する＜即湯予約完了＞



・機能 点灯。
・元の画面に戻ります。
・予約完了 を選択しなければ予約はされません。
・予約解除をしなければ、毎日同じ時間帯に自動的に即湯運転をします。

即湯運転開始

開始時刻になると自動的に即湯運転を開始します。
（運転スイッチが「切」の場合でも、自動的に「入」になります）

即湯運転終了

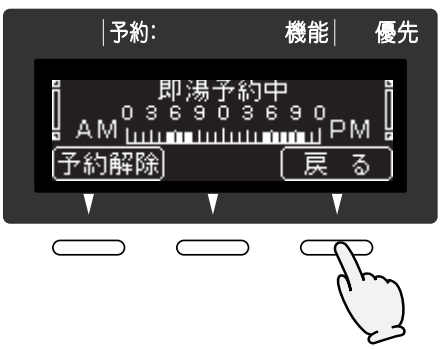
終了時刻になると自動的に即湯運転を終了します。

・運転スイッチは自動的に「切」になりません。

予約>-2

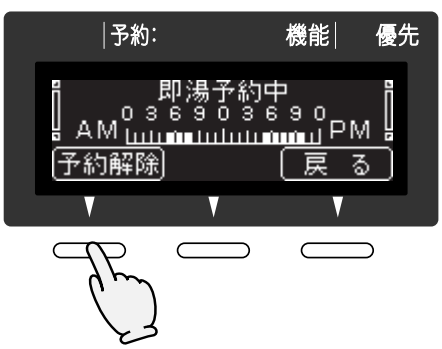
予約時刻の確認

2～3の手順で 即湯予約 を選択し、確認後 戻る を選択する。



即湯予約を解除したいとき

2～3の手順で 即湯予約 を選択し、予約解除 を選択する。



即湯予約を解除します

・機能 消灯。
・戻る を選択するとメニュー画面に戻ります。
・予約を解除しても、設定した予約時間帯は記憶しています。
・即湯運転中に即湯予約を解除した場合、P23「即湯運転をやめたいとき」の方法で即湯運転を停止しない限り、即湯運転は終了しません。

予約時刻の変更

上記「即湯予約を解除したいとき」の手順により解除してから、もう一度設定しなおしてください。

●すでに予約している時間帯を取り消すとき

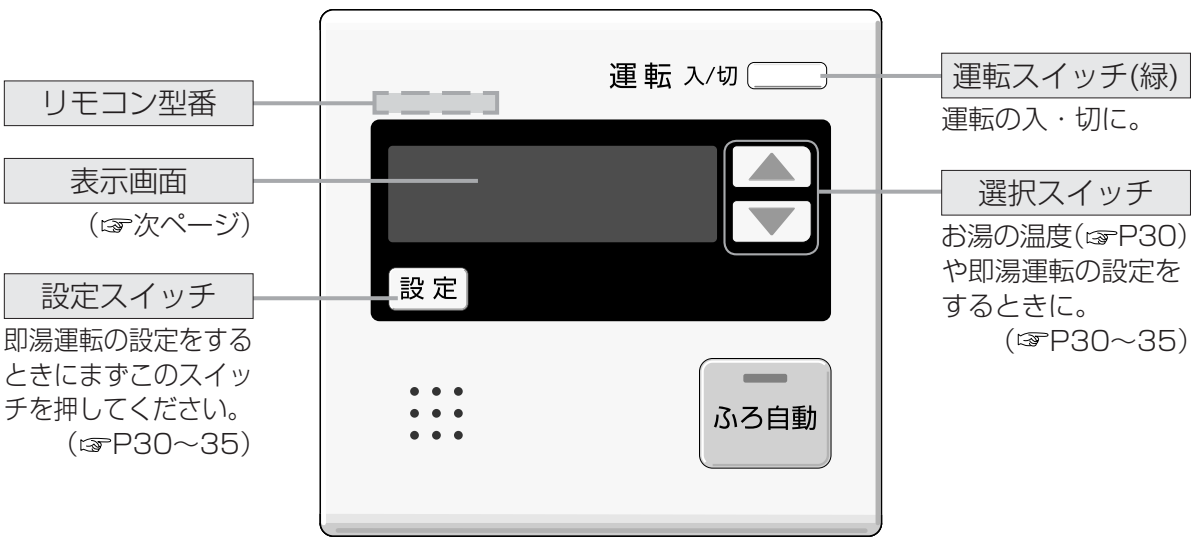
2～3の手順で 即湯予約 を選択し、アップダウンスイッチを押して▲を取り消したい時間帯の目盛りまで移動し、消す を選択すると、その時間帯（1時間ごと）の予約を取り消します。

使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)

台所リモコン

台所リモコン138-N307型で説明します
ここでは、即湯・即湯予約に関するスイッチのみ説明しています。



表示画面

下記の表示画面は説明用です。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

機能表示

暖房表示

即湯運転中に点滅します。
（☞P30～35）

即湯タイマー表示

- 点滅：即湯運転中
- 点灯：即湯予約中
- 点滅：即湯予約運転中

機能バー表示

選択バー表示

操作可能な選択スイッチ上・下をバー表示の点灯や点滅によって指示します。
給湯表示画面でここが点灯しているときは、お湯の温度調節ができます。

燃焼表示

即湯運転の保温時など、燃焼中に表示します。

時計表示

（例：10時15分）

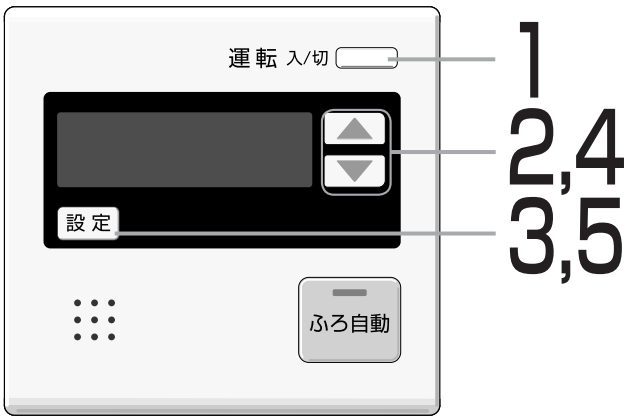
給湯温度表示

（例：40℃）

使いかた

即湯運転する（常時即湯運転をしたいとき）

【例：台所リモコン138-N307型】



＜お願い＞

即湯運転を「入」に設定してもすぐにお湯は出ません。給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまで約１時間かかります。

すぐにお湯を使いたい場合は、あらかじめ即湯運転する時間帯を予約してください。

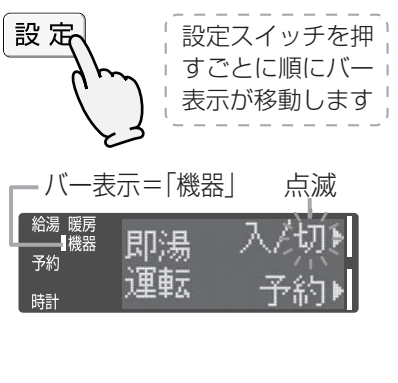
（☞P32～35）

＜運転スイッチ「切」のとき＞ ＜一度設定すると記憶します＞

1 運転スイッチを押して「入」にする

2 必要に応じて 温度を調節する（変更しないときは温度を確認する）

3 設定スイッチを押してバー表示を「機器」の位置にし、即湯運転画面にする



※運転スイッチ「入」の場合は、表示画面の選択バー表示が点灯していることを確認してください。
点灯していないときは、運転スイッチを押していったん「切」にし、再度押して「入」にしてください。
（このとき、運転が停止しますのでご注意ください）

⚠警告

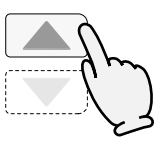
高温注意

やけど予防のために

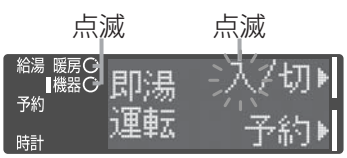
＊給湯温度を60℃などの高温の設定温度から下げた場合は、しばらく熱いお湯が出ますので、やけどに注意してください。（配管内のお湯が熱いため）

＊即湯運転中に《優先》を切り替えた場合、切り替えたほうの温度で即湯運転を続けるため、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用してください。

4 選択スイッチ(上)を押して「入」にする



スイッチを押すごとに
入←→切に切り替わります



5 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す

※設定スイッチを押し忘れた場合でも、しばらく放置すると確定し、給湯表示画面に戻ります。

即湯運転をやめたいとき

①設定スイッチを押して、バー表示を「機器」の位置にする。

②選択スイッチ(上)を押して「切」にする。

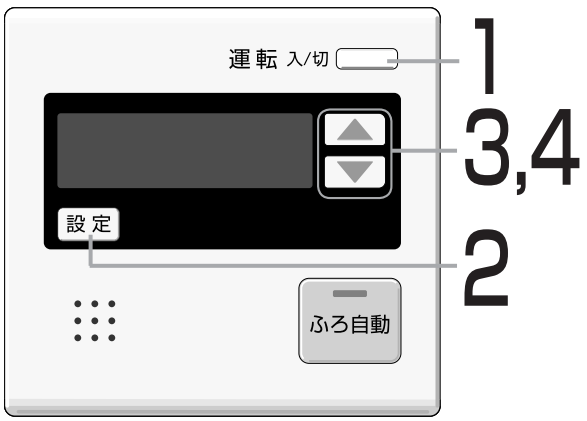
③設定スイッチを押して、給湯表示画面に戻す。

※お湯の温度は、必ずしも設定温度になりません。目安としてお使いください。
※お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する＜即湯

【例：台所リモコン138-N307型】



あらかじめ即湯運転する時間帯を設定しておくと、即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。
即湯予約を解除するまで(☞P35)、毎日同じ時間帯に即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。

＜お願い＞
即湯運転を開始しても、給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまでに約1時間かかるため、開始時刻は、「お湯を使いたい時刻の１時間前」に設定してください。

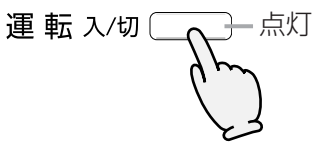
例：朝７時～夜９時の間、お湯を使いたい場合(朝６時から即湯運転「入」に設定します)

＜運転スイッチ「切」のとき＞

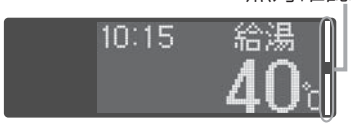
運転前の準備

1. 給湯温度を確認する。
2. 現在時刻が正しいかどうか確認する。

1 運転スイッチを「入」にする



点灯確認

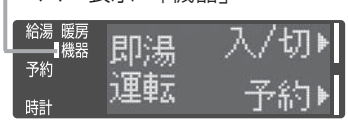


※運転スイッチ「入」の場合は、表示画面の選択バー表示が点灯していることを確認してください。
点灯していないときは、運転スイッチを押していったん「切」にし、再度押して「入」にしてください。
(このとき、運転が停止しますのでご注意ください)

2 設定スイッチを押してバー表示を「機器」の位置にし、即湯運転画面にする

設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します

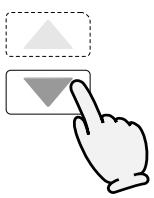
バー表示＝「機器」



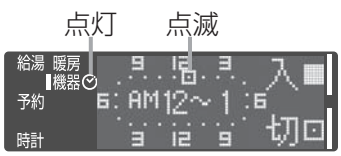
予約>-1

（次ページへ）

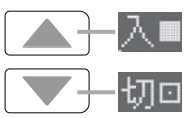
3 選択スイッチ(下)を押して「予約」を選択する



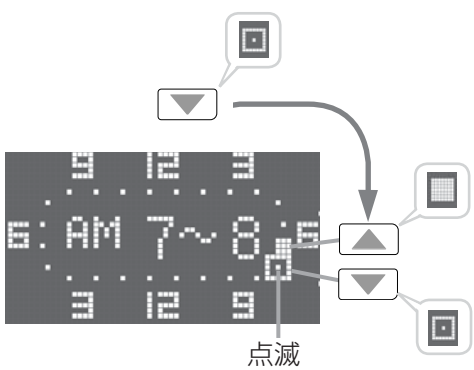
予約時間帯の入力画面になります。

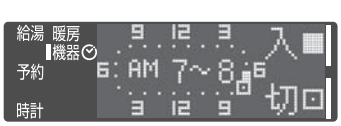


4 選択スイッチ(下=切)を押し進めて行きAM6~7で選択スイッチ(上=入)を押す



■の時間帯(1時間ごと)は即湯運転「入」
□の時間帯(1時間ごと)は即湯運転「切」



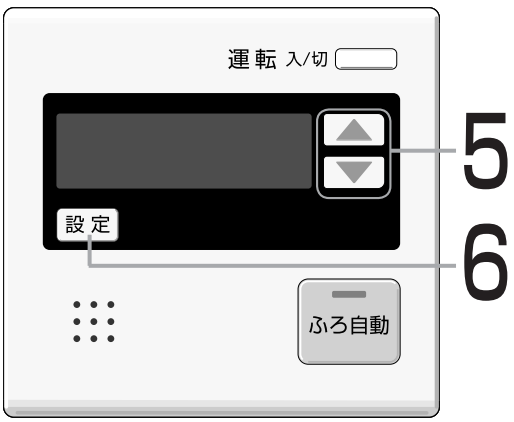


AM 6~7時が即湯運転「入」の設定になります。

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する＜即湯

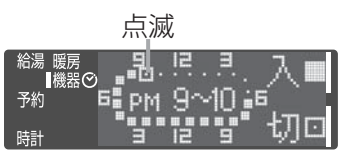
【例：台所リモコン138-N307型】



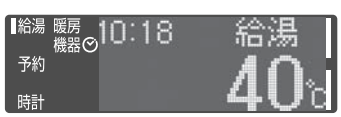
（前ページより）

5 続けてPM8～9まで選択スイッチ(上=入)を押しすすめる

AM6時～PM9時まで即湯運転が「入」の設定になります。



6 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す



※設定スイッチを押し忘れた場合でも、しばらく放置すると確定し、給湯表示画面に戻ります。

現在時刻を合わせていない場合は、次に時計合わせの表示に変わります。（時計合わせの方法は給湯暖房機の取扱説明書をご確認ください）

予約>-2

即湯運転開始

開始時刻になると即湯運転を開始します。(運転スイッチが「切」の場合でも、自動的に「入」になります)

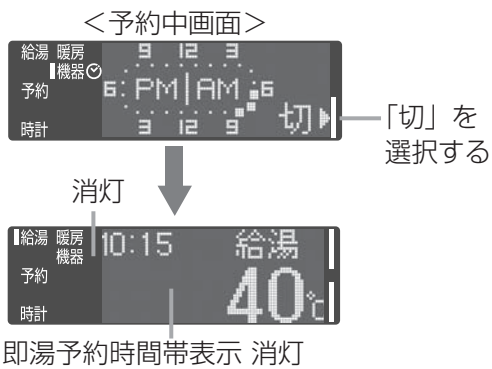
即湯運転終了

終了時刻になると自動的に即湯運転を終了します。

・運転スイッチは自動的に「切」にはなりません。

即湯予約を解除したいとき

①操作手順 1 ～ 2 をおこない、予約中画面にする。
②選択スイッチ(下)を押して「切」を選択する。



※予約を解除しても、設定した予約時刻は記憶しています。
※即湯運転中に即湯予約を「切」にした場合、P31「即湯運転をやめたいとき」の方法で即湯運転を「切」にしない限り、即湯運転は終了しません。

予約時刻の確認

操作手順 1 ～ 3 をおこない、確認後、設定スイッチを押す。

予約時刻の変更

上記「即湯予約を解除したいとき」の手順により解除してから、もう一度設定しなおしてください。

凍結による破損を予防する

お願い

＊暖かい地域でも、即湯ユニット内や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
＊凍結により即湯ユニットが破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

即湯ユニット内は凍結予防ヒーターとポンプ循環（給湯回路のみ）で自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かない。
（運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します）

＊凍結予防ヒーターでは、給湯往き・戻り配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または、電気ヒーターを巻くなどの処置をしてください。
（わからないときは、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください）

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

⚠注意

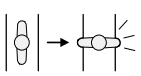
高温注意

即湯運転直後やお湯の使用後は、即湯ユニット内のお湯が高温になっていますので、即湯ユニットが冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

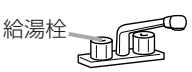
・即湯ユニットの下に容器などを置いて排水を受けてください。

※給湯暖房機の水抜き操作をおこなう前に、以下の方法で即湯ユニットの水抜きをおこなってください。

1 給湯暖房機の給水元栓を閉める。
（給水元栓の位置
☞機器本体編の取扱説明書「各部のなまえとはたらき」）



2 すべての給湯栓を全開にする。



3 即湯ユニットの給湯水抜き栓1〜3を左に回して開ける。（右ページイラスト参照）

4 給湯暖房機のフロントカバー下部にあるラベルで、不凍液が入っているか確認する。
＊「不凍液が入っています」というラベルがある場合‥‥ 以下の**5**の操作は必要ありません。**6**の操作からおこなってください。
＊上記以外の場合（不凍液が入っていない場合）‥‥‥‥ 以下の**5**の操作で水抜きをおこなってください。

5 即湯ユニットの暖房水抜き栓4〜6を左に回して開ける。（右ページイラスト参照）

6 1)リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2)即湯運転をする。

＜リモコン 238-N304型, N305型をお使いの場合＞
P6～7の手順で即湯運転する。

＜リモコン 138-N380型, N381型, N382型, N383型, N384型, N385型, N395型, N396型, N397型, N398型をお使いの場合＞
P14～15の手順で即湯運転する。

＜リモコン 138-N310型, N311型をお使いの場合＞
P22～23の手順で即湯運転する。

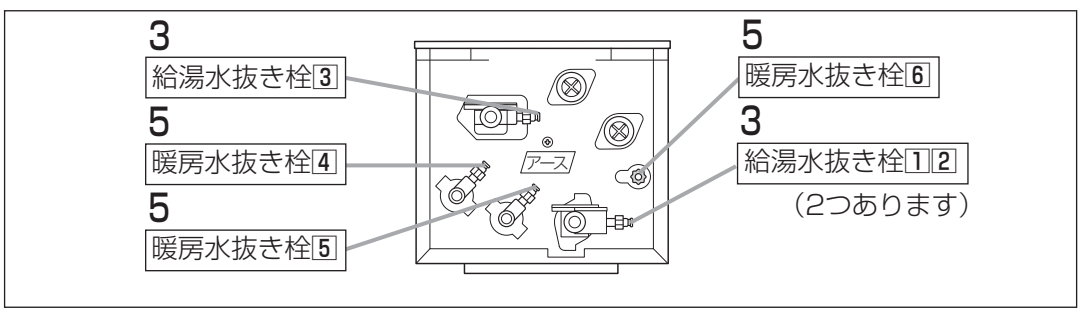
＜リモコン 138-3054型, 3055型, 3056型, 3060型, 3061型, 3062型, 3063型, 3064型, 3091型, 3092型, 3093型, 3094型, N305型, N306型, N307型, N308型, N315型, N316型をお使いの場合＞
P30～31の手順で即湯運転する。

3)リモコンに故障表示《638》を表示するまで1分程度待ち、表示したら、5分程度そのままにする。
（この場合《638》は異常ではありません）

7 完全に排水されたことを確認したら、即湯ユニットのすべての水抜き栓(6か所)、すべての給湯栓を閉める。

8 リモコンの運転スイッチを押して「切」にし、電源プラグを抜く。 ぬれた手でさわらない

＜下から見た図＞



再使用のとき

＊即湯ユニットのすべての水抜き栓が閉まっていることを確認してから、給湯暖房機の取扱説明書「凍結による破損を予防する」の「再使用のとき」の操作をおこなってください。
＊即湯ユニット本体や配管から水漏れがないかよく確認し、給湯栓を開いて、充分お湯を出してから使用してください。
＊配管内に空気が残っていると、リモコンに故障表示《638》を表示することがあります。その場合は、給湯栓より充分お湯を出した後、いったん運転スイッチを押して「切」にし、再度押して「入」にしてから使用してください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

連絡していただきたい内容

型番 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 138-N700型
異常の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 症状など、できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日
給湯暖房機の型番 ・・・・・・・・・・ 給湯暖房機の銘板をご覧ください

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
保証書に記載されている保証期間･保証内容などをよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。
但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してある電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

主な仕様

型番			138-N700型
型式名			QU-3
加熱能力〈kW〉（暖房流量：2L/分 給湯流量：4L/分）	給湯戻り温度	5℃	3.78 , 2.17号
		37℃	2.33 , 1.34号
		60℃	1.28 , 0.73号
熱源〈L/分〉			暖房用温水 2（80℃）
加熱方式			暖房温水を利用した間接熱交換器による加熱
給湯温度制御方式			ポンプ、熱動弁ON/OFF制御
設置方式			屋外壁掛・屋内壁掛設置形
使用水圧〈kPa〉			100～750（1.0～7.5kgf/㎠）
外形寸法〈㎜〉			高さ344×幅252×奥行220
質量（本体）〈kg〉			8.2
接続口径	給湯往き		R1/2
	給湯戻り		R1/2
	温水入り		φ7樹脂管用差込ジョイント
	温水出		φ7樹脂管用差込ジョイント
電気関係	電源		AC100V（50/60Hz）
	消費電力（50/60Hz）〈W〉		40／45
			凍結予防ヒーター 70
安全装置			過電流防止装置、漏電安全装置

メモ

メモ

メモ

新製品の知識

即湯ユニット
138-N700型

2004年9月
大阪ガス株式会社
リビング開発部

この冊子は再生紙を使用しております。